

ボランティアセンター 東日本震災ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック有志

No.16 2011年5月23日

発行担当 尼崎医療生協・堤

避難所に健康チェックを

坂元支所と真庭区民会館にて、避難されている方に声かけをさせていただきました。

避難所には様々な状況の方がいらっしゃいましたが、すぐにでも対応しなければならないと思われるケースが何件ありました。その中でも最も早急な対応が必要だと思われるのは、2ヶ月もの長い期間避難所で生活されていて体調を崩されている女性のケースです。

その方はほとんど起きあがることができず、横になって過ごされています。薬は飲まれているものの、通院は出来ていません。車はあるのですが、旦那さんが避難所の受付に立られているため席を外すこともできず、あまり

病院に行くことにも積極的ではありません。こちら側の対応としては、県南医療生協の看護師さんや看護師の資格を持つ組合員さんと連携をとり、個別に健康チェックを行い、その後病院に行きやすい状況を作っていく予定です。このように避難所において健康に不安を抱えている方は多く、今後、医療支援以前の段階として、健康チェックという形を取った訪問行動が必要ではないかと思われま



自転車整備をしていただきました

神戸医療生協支援隊と共に来てくださったけいはん医療生協の富田さんが避難所などに寄贈される予定の自転車50台を整備してくださっています。中古のためどうしてもブレーキがうまくなっていたり、チェーンが緩んでいたりする自転車が整備によって新品同様に蘇りました。津波により多くの車が使用できなくなり、中古車値段が跳ね上がっている現在、自転車は多くのニーズがあります。富田さんに整備していただいた自転車は、きっとたくさんの方の役にたってくれることと思います。



白井さんお疲れ様でした



15日から現地責任者として大奮闘した白井さんが本日、大阪に戻られます。白井さんは地域の班長さんを中心とした花笠区の組織作りを推し進めました。後任として堤が現地責任者となります。